

作物の種類		大麦		429		1次必須項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調 査 方 法 等		
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9	
1	叢性	区	観察			極直	直立	やや直立	中	やや匍匐	匍匐	極匍匐		茎立ち前の草姿（ただし、根雪のある場合は根雪前の草姿とする。寒地のビール麦は除く,大麦調査基準付2参照)	
2	並渦性	区	観察			並						渦		芽鞘の長さ及び先端部の形(大麦調査基準付3参照)	
3	稈長	10個体	測定	cm（小数第1位を四捨五入）									最長稈の地際から穂首までの長さ		
4	穂長	10個体	測定	cm（小数第2位を四捨五入）									最長稈の穂首から穂の先端（芒を除く）までの長さ		
5	条性	区	観察			二条			粗六条			六条		穂の小穂条列,「二条」とは条列2、「粗六条」とは条列6で四角形、「六条」とは条列6で六角形のをいう,(大麦調査基準付5参照)	
6	芒の有無と多少	区	観察	無		極少	少	やや少	中	やや多	多	極多		「少」とは10%,「中」とは25%,「多」とは40%のをいう	
7	ふ色	区	観察		淡黄	黄	黄褐	褐	赤褐	赤	赤紫	紫	濃紫～黒	成熟期における「ふ」の色	
8	粒の大小	区	観察			極小	小	やや小	中	やや大	大	極大		原麦粒の大小の程度	
9	粒色	区	観察	白	淡黄	黄	黄褐	褐	赤褐	赤	赤紫	紫	濃紫	原麦粒の色（裸麦のみ）	
10	皮裸性	区	観察			皮						裸		穀粒の「ふ」の有無	
11	出穂期	区	観察	年月日									有効茎数の40～50%が出穂を始めた日〔「出穂」とは穂先（芒を除く）が葉鞘から現れたことをいう〕		
12	成熟期	区	観察	年月日									全穂数の80%程度の穂首部が黄化し、粒はほぼ「ろう」ぐらいの硬さに達した日		
13	1000粒重	3反復	測定			極小	小	やや小	中	やや大	大	極大		20gの試料について3回以上粒数を測定し、1000粒の重量に換算（含水率12.5%とする）	

作物の種類		大麦		429		1次選択項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調 査 方 法 等		
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9	
1	株の開閉	区	観察			極閉	閉	やや閉	中	やや開	開	極開		穂揃期～成熟期に茎が外方に扇開したのを開とし、直立したのを閉とする	
2	稈の細太	区	観察			極細	細	やや細	中	やや太	太	極太		成熟期の稈の最も太い個所の太さ	
3	稈の剛柔	区	観察			極剛	剛	やや剛	中	やや柔	柔	極柔		成熟期の稈の固さ	
4	稈のワックスの多少	区	観察	無		極少	少	やや少	中	やや多	多	極多		出穂期における上位第1節間の茎のろう質の多少	
5	葉耳の有無	区	観察	無									有	葉耳の有無	
6	葉色	区	観察・測定			極淡	淡	やや淡	中	やや濃	濃	極濃		観察または色差計・色板等による測定（叢生観察時の葉色又は調査時期記載）	
7	葉鞘のワックスの多少	区	観察	無		極少	少	やや少	中	やや多	多	極多		出穂期における上位第1葉鞘のろう質の多少	
8	葉鞘の毛の有無・多少	区	観察	無		極少	少	やや少	中	やや多	多	極多		葉鞘の毛の有無とその多少	
9	穂型	区	観察			棍棒	やや棍棒	やや棍棒～中	中	中～やや矢羽根	やや矢羽根	矢羽根		二条種・密穂型:矢羽根,疎穂型:棍棒,大麦調査基準付6参照(二条大麦のみ)	
10	粒着の粗密	10穂	観察・測定			極疎	疎	やや疎	中	やや密	密	極密		穂軸節間数（1列の着生小花数）／穂軸長（cm）	
11	穂の抽出度	5穂	測定			極短	短	やや短	中	やや長	長	極長		成熟期の止葉の葉鞘先端から穂首節までの長さ	
12	穂の下垂度	区	観察			極直	直	やや直	中	やや垂	垂	極垂		成熟期の穂の下垂の程度	
13	芒長	10穂	観察・測定			極短	短	やや短	中	やや長	長	極長		1.最長芒の長さを10穂について測定(有芒種のみ) 2.標準品種に対する長短を観察により測定	
14	芒の粗滑	区	観察			極滑	滑	やや滑	中	やや粗	粗	極粗		芒の滑らかさ、芒刺の有無(有芒種のみ)	

作物の種類		大麦		429		1次選択項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位									調査方法等		
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9	
15	芒型	区	観察			短三 叉			並三 叉			長三 叉		三叉芒の長短(三叉芒種のみ,大麦調査基準付4参照)	
16	粒の形	区	観察・測定			極円	円	やや 円	中	やや 長	長	極長		原麦粒の形	
17	穀皮の厚さ	区	観察			極薄	薄	やや 薄	中	やや 厚	厚	極厚		ちりめんじわ多:薄,ちりめんじわ少:厚(ビール麦のみ)	
18	底刺毛茸の長短	区	観察			短			中			長		原麦粒の底刺毛茸の長さ(ビール麦のみ)	
19	外穎基部の横溝の有無	区	観察	無									有	原麦粒の外穎基部の横溝の有無(ビール麦のみ)	
20	腹溝の幅	区	観察			極狭	狭	やや 狭	中	やや 広	広	極広		原麦粒の腹溝の幅(ビール麦のみ)	
21	鱗皮の毛の長短	区	観察			短						長		原麦粒の鱗皮の毛の長さ(ビール麦のみ)	
22	止め葉の葉耳のアントシアニン着色の強弱	区	観察	無		極弱	弱	やや 弱	中	やや 強	強	極強		止め葉の葉耳のアントシアニンの着色の強弱	
23	止め葉が反曲した植物体の出現の多少	区	観察	無		極少	少	やや 少	中	やや 多	多	極多		反り返った止め葉の発生の多少	
24	止め葉の葉しょう表面のろう質の多少	区	観察	無		極少	少	やや 少	中	やや 多	多	極多		出穂期の葉しょう表面のろう質の多少	
25	芒の先端のアントシアニン着色の強弱	区	観察	無		極弱	弱	やや 弱	中	やや 強	強	極強		開花期の芒の先端のアントシアニン着色の強弱	
26	穂のろう質の多少	区	観察	無		極少	少	やや 少	中	やや 多	多	極多		開花期～乳熟期の穂表面のろう質の多少	
27	乳熟期の穂の向き	区	観察			極直	直	やや 直	中	やや 垂	垂	極垂		乳熟期の穂の向き	
28	穂軸の第1節の長さ	区	測定			短			中			長		成熟期の穂首から第1節までの長さ	
29	穂軸の第1節の曲がりの強弱	区	観察	無		極弱	弱	やや 弱	中	やや 強	強	極強		成熟期の穂首から第1節までの穂軸の曲がりの強弱	

作物の種類		大麦		429		1次選択項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位									調査方法等		
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9	
30	穂の不稔小穂の発育	区	観察			消失			発育不全			完全発育		成熟期の不稔小穂の発育の程度	
31	不稔小穂の向き	区	観察			平行			やや先広			先広		成熟期の穂の中央部の不稔小穂の向き	
32	穀粒に比べた中央小穂ののぎを含む護えいの長さ	区	観察			短			等			長		成熟期の穀粒に比べた護えい（護えいの芒を含む）の長さ	
33	底刺の毛の長短	区	観察			短						長		小穂軸に着生する毛の長短	
34	穀粒の外えいのアントシアニン着色の強弱	区	観察	無		極弱	弱	やや弱	中	やや強	強	極強		糊熟期の外えいの脈のアントシアニンの着色の強弱	
35	穀粒の外えい背面内側面の脈沿いの突起の多少	区	観察	無		極少	少	やや少	中	やや多	多	極多		成熟期の穀粒の外えい背面内側面の脈沿いの突起の多少	
36	穀粒の腹面下部溝の毛の有無	区	観察	無								有		成熟期の粒腹面の縦溝の毛の有無	
37	穀粒のりん皮の着き方	区	観察	正面								抱え		成熟期の穀粒のりん皮の着き方	
38	穀粒の糊粉層の色	区	観察			白			薄灰褐			灰褐		糊熟期の糊粉層の色	

作物の種類		大麦		429		2次必須項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位									調査方法等		
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9	
1	播性の程度	10個体	観察・測定		1	2	3	4	5	6	7			早春から一定間隔(通常10日)で播種し、出穂状況により判定する。1:低、7:高(寒地は除く)	
2	糯、粳の別	区	観察			粳						糯		ヨード反応により判定	
3	脱芒性	区	観察			極難	難	やや難	中	やや易	易	極易		成熟期の脱芒の難易を調査(皮麦のみ)	
4	脱ふ性	区	観察			極難	難	やや難	中	やや易	易	極易		成熟期の脱ふの難易を調査(裸麦のみ)	
5	脱粒性	区	観察			極難	難	やや難	中	やや易	易	極易		成熟期の脱粒の難易を調査	
6	耐倒伏性	区	観察			極強	強	やや強	中	やや弱	弱	極弱		倒伏の時期と程度によって総合的に判定する	
7	縞萎縮病抵抗性	10個体 2反復	観察			極強	強	やや強	中	やや弱	弱	極弱		病徴及び出穂期における穂揃いの良否により判定(寒地は除く)	
8	赤かび病抵抗性	30個体 4反復	観察			極強	強	やや強	中	やや弱	弱	極弱		糊熟～成熟期の発病程度により判定(寒地,寒冷地は除く)	
9	うどんこ病抵抗性	50個体 2反復	観察			極強	強	やや強	中	やや弱	弱	極弱		病斑密度により判定	

作物の種類		大麦		429	2次選択項目								
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位									調査方法等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	
1	小さび病抵抗性	区	観察			極強	強	やや強	中	やや弱	弱	極弱	登熟期の病斑密度により判定
2	雲形病抵抗性	区	観察			極強	強	やや強	中	やや弱	弱	極弱	穂揃期前後の病斑密度により判定
3	茎立性	区	観察			極早	早	やや早	中	やや晩	晩	極晩	茎が起立し始める時期の早晩(寒地,寒冷地は除く)
4	穂発芽性	5穂	測定			極難	難	やや難	中	やや易	易	極易	成熟期の穂について調査
5	耐寒性	100個体 2反復2回	観察			極強	強	やや強	中	やや弱	弱	極弱	越冬株率と被害程度による(寒地及び寒冷地のみ,ただし寒地のビール麦は除く)
6	耐雪性	区	観察			極強	強	やや強	中	やや弱	弱	極弱	融雪後の被害程度による(寒地及び寒冷地のみ,ただし寒地のビール麦は除く)
7	耐湿性	区	観察			極強	強	やや強	中	やや弱	弱	極弱	湿害に対する強さ(生育時期を記述する)
8	耐凍上性	40個体 4反復2回	観察			極強	強	やや強	中	やや弱	弱	極弱	凍上害に耐える程度を調査(寒冷地及び温暖地のみ)
9	虫害抵抗性	区	観察			極強	強	やや強	中	やや弱	弱	極弱	害虫に対する抵抗性(害虫名を記述すること)

作物の種類		大麦		429		3次必須項目										
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位									調査方法等			
				0	1	2	3	4	5	6	7	8				9
1	収量性	区	観察・測定			極少	少	やや少	中	やや多	多	極多		標準品種に対する収量の多少を測定により判定		
2	リットル重	3反復	測定			極小	小	やや小	中	やや大	大	極大		1リットル重測定器で3回測定した平均(含水率12.5%とする)		
3	原麦粒の見かけの品質	区	観察		上上	上中	上下	中上	中中	中下	下上	下中	下下	粒の充実、粒揃い、形状、色沢により総合判定		
4	粒質	区	観察・測定				粉状質	粉状質 ～中間質	中間質	中間質 ～硝子質	硝子質			精原麦粒の硝子率の程度により、硝子率70%以上を硝子質、30%以下を粉状質、その中間を中間質とする(ビール麦は除く)		
5	原麦白度	区	測定			極低	低	やや低	中	やや高	高	極高		精原麦の白度を白度計により測定、精原麦とは1.8mmの縦目篩にかけたもの(裸麦のみ)		
6	精麦歩留	区	測定			極小	小	やや小	中	やや大	大	極大		試験用搗精機により、精原麦に対する精麦の重量比を求める(ビール麦は除く)		
7	精麦白度	区	測定			極小	小	やや小	中	やや大	大	極大		白度計により精麦の白度を測定(ビール麦は除く)		
8	整粒歩合	区	測定			極少	少	やや少	中	やや多	多	極多		子実200gを供試し、縦目振で5分間ふるい分けし、2.5mm以上のふるい上に残ったものの重量の供試重量に対する割合(ビール麦のみ)		
9	浸麦時間	区	測定			極短	短	やや短	中	やや長	長	極長		一定時間ごとに殻粒水分を測定し、浸麦後殻粒水分が一定(43%)に達するまでの時間を測定(ビール麦のみ)		
10	麦芽収量率	区	測定			極少	少	やや少	中	やや多	多	極多		麦芽/原料麦×100(無水物換算)により、原料麦に対する仕上がり麦芽の重量率を算出(ビール麦のみ)		
11	麦芽エキス	区	測定			極少	少	やや少	中	やや多	多	極多		麦汁の比重から麦芽に対する可溶性抽出物の量の割合を求める(ビール麦のみ)		
12	エキス収量	区	算出			極少	少	やや少	中	やや多	多	極多		麦芽エキス×麦芽収量率(ビール麦のみ)		

作物の種類		大麦		429		3次必須項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調 査 方 法 等		
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9	
13	麦芽粗蛋白質含量	区	測定			極少	少	やや少	中	やや多	多	極多	麦芽の全窒素含有率×6.25(ビール麦のみ)		
14	可溶性窒素含量	区	測定			極少	少	やや少	中	やや多	多	極多	麦汁中の窒素含有率(ビール麦のみ)		
15	コールパツハ数	区	算出			極小	小	やや小	中	やや大	大	極大	可溶性窒素含量/麦芽全窒素含量×100(ビール麦のみ)		
16	ジアスターゼ力	区	測定			極小	小	やや小	中	やや大	大	極大	麦芽から酵素を抽出し、澱粉に反応させて測定(ビール麦のみ)		
17	全窒素当りジアスターゼ力	区	算出			極小	小	やや小	中	やや大	大	極大	ジアスターゼ力/麦芽全窒素含量(ビール麦のみ)		
18	最終発酵度	区	測定			極少	少	やや少	中	やや多	多	極多	麦芽エキス測定用の麦汁に酵母を働かせて、麦芽エキス中の醗酵性の糖の量を測定(ビール麦のみ)		
19	麦汁色度	区	測定			極淡	淡	やや淡	中	やや濃	濃	極濃	麦汁の色の濃淡を所定のカラーディスクを用いて測定(ビール麦のみ)		

作物の種類		大麦		429	3次選択項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位									調査方法等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9
1	原麦硬度	区	測定			極軟	軟	やや軟	中	やや硬	硬	極硬		精原麦の硬度を単一穀粒評価システム(SKCS)により測定